

デコ活

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしをつくる国民運動

令和5年12月13日 富士市環境総務課

デコ活とは？

二酸化炭素(CO₂)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む”デコ”と活動・生活を組み合わせた新しい言葉です。

新国民運動の経緯

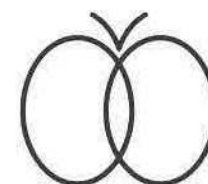
日付	内容
令和4年10月25日	環境省が「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」及び「官民連携協議会」を立ち上げ、10年後の絵姿を紹介。
定期的開催	新国民運動・官民連携協議会 会合を定期的開催。 民間事業者が実施する脱炭素に関するプロジェクトへの自治体等の参画を後押し。
令和5年5月～7月	「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称を募集し、選考の結果「デコ活」に決定。
令和5年8月29日	企業、自治体、消費者等の「デコ活宣言」スタート

デコ活の概要

- 2050年カーボンニュートラル及び2030年削減目標の実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を強力に後押しするために、令和5年8月から環境省が展開しています。
- 脱炭素につながる将来の豊かな暮らしの全体像・絵姿をご紹介するとともに、国・自治体・企業・団体等で共に、国民・消費者の新しい暮らしを後押しします。

ロゴマークに込められた思い

一人一人の日常の取組が地球を変える
大きなうねりになる「バタフライエフェクト」を
イメージした、シンプルな蝶のデザイン。



“デコ活”まずはここから（環境省推奨）

デ

電気も省エネ 断熱住宅

コ

こだわる楽しさ エコグッズ

カ

感謝の心 食べ残しゼロ

ツ

つながるオフィス テレワーク

デコ活アクション

\ まずはここから /



電気も省エネ
断熱住宅



こだわる楽しさ
エコグッズ



感謝の心
食べ残しゼロ



つながるオフィス
テレワーク

ひとりでのCO₂が下がる

住 節水できる機器、
高効率の給湯器を選ぶ

移 環境にやさしい
次世代自動車を選ぶ

住 太陽光発電など、再生可能
エネルギーを取り入れる

みんなで実践

衣 クールビズ・ウォームビズ、
サステナブルファッションに
取り組む

住 ごみはできるだけ減らし、
資源としてきちんと
分別・再利用する

食 地元産の旬の食材を
積極的に選ぶ

移 できるだけ公共交通・
自転車・徒歩で移動する

買 はかり売りを利用する
など、好きなものを必要
な分だけ買う

住 宅配便は一度で受け取る

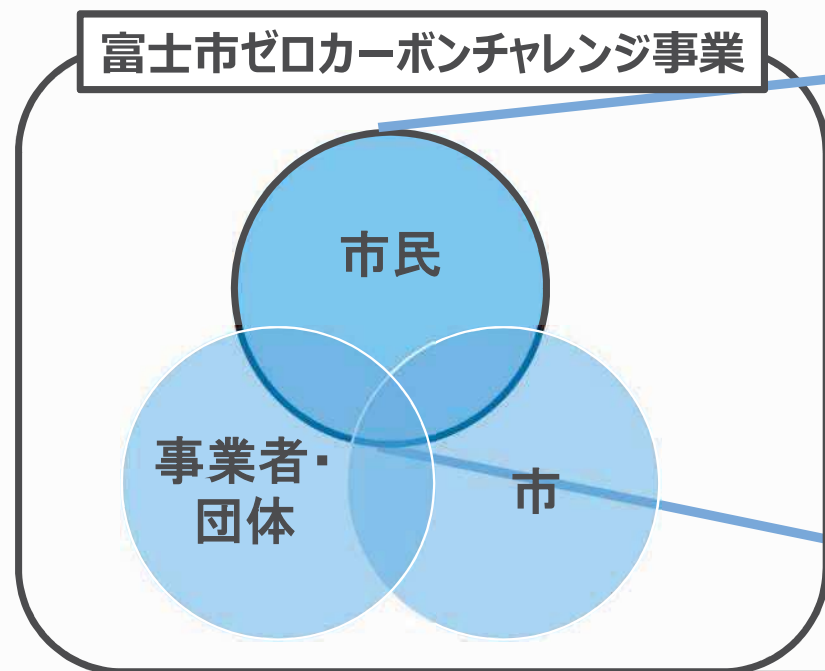
富士市 **デコ活** 宣言

本市は2050年ゼロカーボン及び2030年家庭部門の温室効果ガス排出量2013年度比66%削減に向け、事業者・行政が協働して、市民のライフスタイルの転換を全力で後押しします。

令和5年12月 富士市長 小長井義正

富士市“デコ活”推進イメージ

富士市ゼロカーボンチャレンジ事業



デコ活

☞ クールチョイスに
様々な要素を
含め拡充。

クールチョイス

- ゼロカーボン
アクション30
- クールチョイス
22

◆事業者・団体等と共に、**市民**の新しい暮らしを後押しします。

富士市デコ活推進プロジェクト①

◆市民のライフスタイル転換を誘発する身近な拠点づくり

- ▶ デコ活に関する簡易なPR
- ▶ 店舗取扱製品の紹介等
- ▶ 補助金情報の周知(国・県等含む)

☞ 協力店への来店者増加につながる仕掛けづくり

- ▶ クルポスポット推奨(県事業連携)
- ▶ デコ活10箇条(新規)の配布⇒抽選で景品
- ▶ ゼロカーボンチャレンジ補助金申請にもデコ活10箇条を添付

富士市デコ活推進プロジェクト②

◆全ての屋根に太陽光発電設備の導入推進

- 市民ゼロカーボンチャレンジ補助金の交付(継続予定)
 - ・太陽光発電システムの導入
 - ・PPA契約による太陽光発電設備の導入
- 国のZEH補助金の利用推進
- 市民活動の支援拡大や市民、事業者の意識啓発